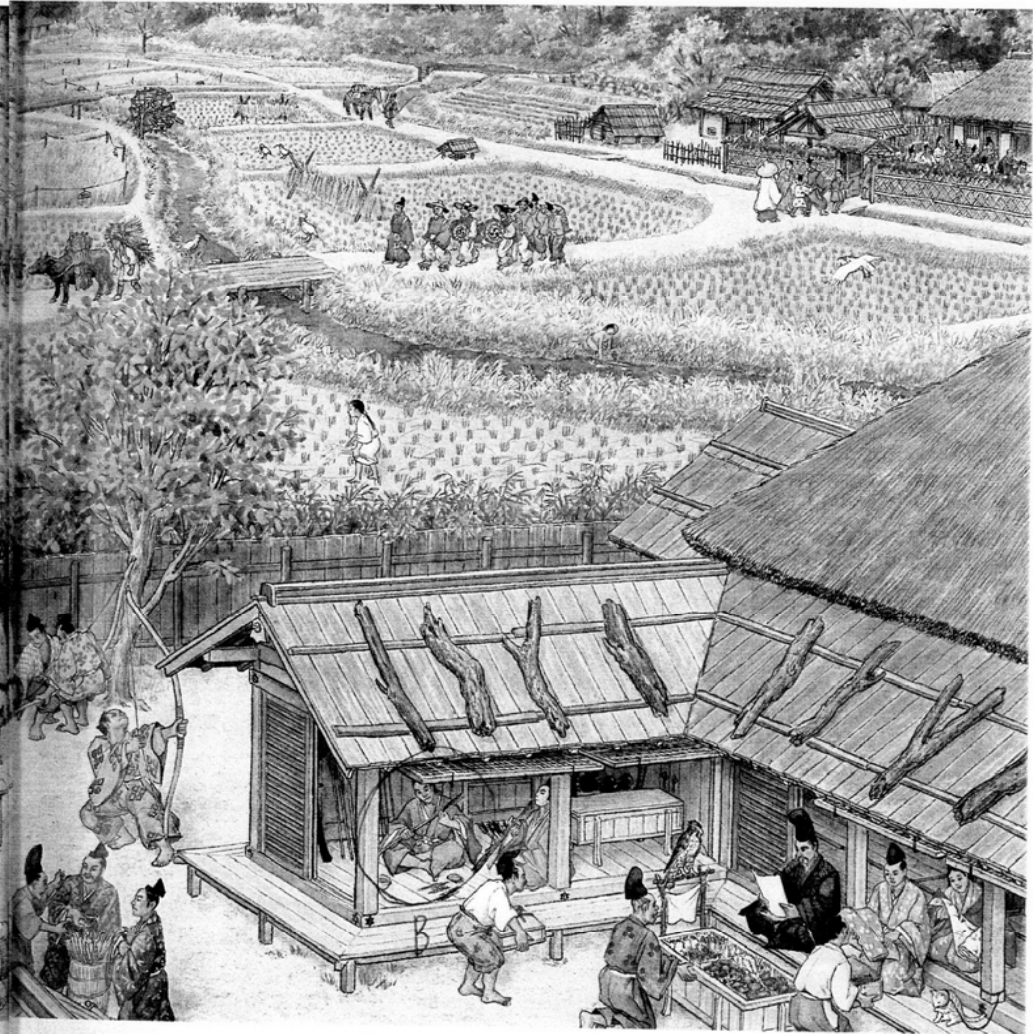
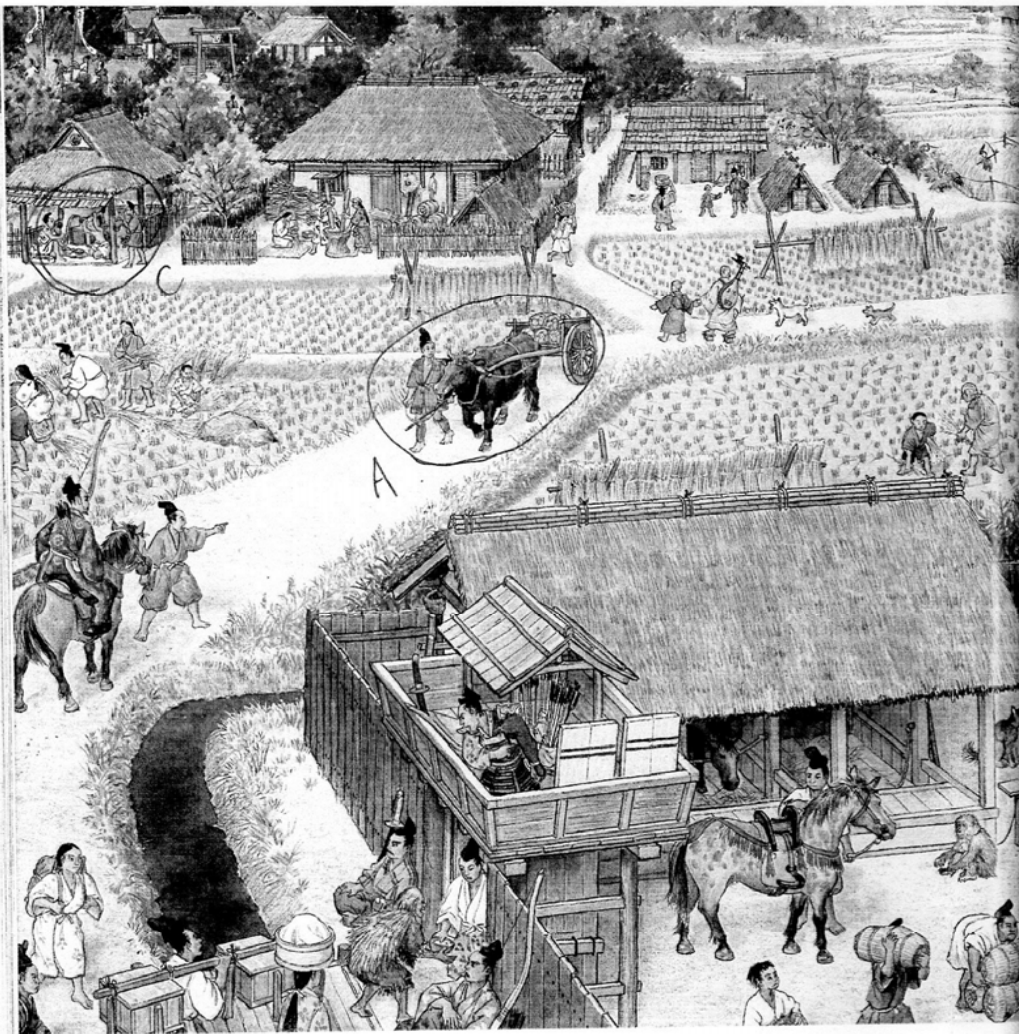


西
紀元20
紀元10
紀
20
40
60
80
100
120
140
150
160
170
180
1900



タイムスリップ!

中世①〔13~14世紀〕(想像図)

中世は、人々が中央の支配をはなれ、自由に生きはじめた時代です。ある農村の1日をながめてみましょう。手前に領主である武士の家が見えます。今日は年貢をおさめる大切な日のようです。絵にえがかれた武士たちは何をしていますか。外では見まわりの武士に、農民が何か知らせています。川の向こうの農家でのできごとが気になるのでしょうか。それとも村で何かおこったのでしょうか。

絵のなかからさがしてみよう!①

下にあげた武士や農村の人々の生活は、この絵のなかのどこにえがかれているか、さがしてみよう。また、P.54~57, 63の文章を読んで、文章と関連する人やものをさがしてみよう。



- ① 年貢として産物をおさめにきた農民
- ② 家農の家に招かれた時宗(→P.63)の僧
- ③ 落ち穂を拾う子どもと老人
- ④ 庭で弓弦を引く武士

絵のなかからさがしてみよう!②

この絵は、この時代やその前後の時代の絵巻物などを参考に、当時の人々のようすを想像してえがかれました。下の資料を参考にした場所や場面は、絵のなかのどこにえがかれているでしょうか。



- ⑥ 荷車を引く牛(『松崎天神縁起絵巻』山口県防府天満宮蔵)
- ⑦ 馬に乗った武士(『粉河寺縁起絵巻』和歌山県粉河寺蔵)

この教科書のほかのページにも、この絵をえがくヒントとした資料がたくさんあります。さがしてみよう。例)P.46~47①『粉河寺縁起絵巻』